

## 木曽官材・市売り

長野県木曽にて開催されています、木曽ヒノキ製品を主に販売する市場ですが、最近では天然木曽ヒノキの出品量は激減しています。勿論天然ひのき・木曽に植林されています一般のヒノキ製品も出品されていますが、多くの業者は天然木曽ヒノキ狙いで市に参加しています。

天然木曽ヒノキ製品も、最高級の品質『サイズ・例えば高品質材 L5 ㍉ W400 ミリ T50 ミリ位』の出品材はありますが、残念ながら高級材の注文が無いのか、長い時間元落ちになっています。しかし毎回来ている業者はそれなりの**手ごろな価格の商品**を買っています。と言う事はある意味大きい物件が非常に少ない事を意味しています。

殆どの業者は、全国の建築関係の市場関係の方々です。特に買い頭は関東方面に複数の市場に出品している浜問屋さんです。彼らの買いつりは見事です。買付け価格は非常にシビアですが、一浜（一浜）全て買い付ける事は珍しく有りません。

私もその方と市でバッティングします。その時は必ず譲る様にしています。こういう大量買付け者は、品質的には中間からその下がメインです。中間の品質から高品質材は余り購入されません。高品質材は色んな方がお見えになってそれなりに売れていきます。

今年は5月と6月に買い付けしてきましたが、昨年より品質は多少は落ちていますが、価格的にはお値打ち価格で購入出来たと喜んでます。しかし出品材のボリュームは良質材に関してはかなり減る傾向に有ると思いますし、名古屋城の改築工事が来年度以降、本格化する話を聞いているので一層良質材の出品は今後減ると思います。

ヒノキ材の保管は他の材と少し違います。日に焼けて白木が白く無くなる事『赤くなる』が有るので、今月ヒノキ材専用の保管ルームを作りました。

7月初旬の西日本の大雨による大災害も有り、特に大阪では北大阪で起きた地震も相まって超人手不足の影響で直ぐ工事をして頂けないのですが、今回は工務店さんの特別なお取り計らいで予定より早く完成しました。



## 産地の材木の状況と日本国内のマーケットの余りに大きいギャップ

ゴールデンウイーク明けから、材木の荷動きが急激に悪くなっています。全国的に、荷動きが停滞しています。その為か解りませんが、一部の大手問屋が、慌てふためいている状況の様に見えます。服部商店の取引している大手問屋さんも、他の問屋さんが安売りしているのに凄く頭を痛めていると聞いています。安売り出来る為替状況でもないのに、この先どうなるのかが心配ですとも言っていました。

6月末に地方に出掛けました。特段変わった事が無いように聞いていましたが、東海地方に有る問屋さんが、原価を切った価格で少人数で商いをしている木工所まで売りに来ているのです。上記の話を聞いていたので、少しは驚きましたが、仕方が無い状況だと感じました。

ところで皆様は、安い価格だから、買う事はお得だと感じているとお思いでしょうか、過去に安売りをしていて生き残った材木屋は有りません。

しかしその会社がどうしても換金しないと会社運営に支障が出るのでしょうか。しかしこんな事を繰り返して来たら、必ず先は見えています。

以前より安く買える商品はありますが、売れないから安くなっているのです。それって値打ちが有るのですかと聞かれたら、そうですとは簡単に答えられません。マーケットの注文が無いから安い価格で売らざるを得ないのでしょう。需要が減っているから安くしか販売できないのかと思うと情けなく思います。

無垢材全体（国内産人工林のスギ・ヒノキを除く）は、全ての産地で物不足に陥っています。北米産針葉樹・北米産広葉樹・ロシア材・国内産広葉樹・南洋材等全ての産地の材は供給不足になっています。しかし入荷する材が100%川上から川下へ潤沢に物が流れている訳では有りません。中には売れないサイズ、売れない産地材、中身の悪い商品等も必ずあります。

ここで小生が皆様にお話する際の超品不足商品の基準は、最も皆様方からの要望が多い品質・価格帯の商品です。

そうかと言って供給が極端に減って、マーケットから無くなる商品も有ります。需要が有っても供給が不可能になってしまったら、その商品の寿命は無くなるのです。

材木も他の全ての物の価格は受給バランスによって価格は決定されます。

現在の状況は受給バランスがいまだに材木業界はデフレ状況なんだと思います。

\*以前エコノミストに良いデフレと悪いデフレが有ります。と言う方がいましたが、その方達は何処に言ったのでしょうか。値下がり日本人全体の敵です。

何故大手問屋が安売り攻勢をかけているのかをじっくり考えました。小生の判断は以下です。

- 1、経営者が木を知らない。
- 2、営業マンも木を知らない
- 3、在庫機能が無い。
- 4、販売に対しての付加価値がない
- 5、川下作戦を取っている。
- 6、売り上げ重視型の経営スタイルです。

この6つが現在の状況だと思います。服部商店は高品質の商品を、最大限企業努力して販売単価を決定しています。

**本当の話をお話するのが、小生が考える真心だと思います。服部商店の木材製品と他社との価格の単純比較で判断をしないで下さい。大局的に森林を見てから、木を見ます。それから情報発信をします。それが最大の服部商店の心だと思っています。**

ところでアメリカに行くと、ことある事に、この程度しか買わないのかと日常的に言われます。その時川上の業者が超安売りするから買えませんとは絶対に言えません。アメリカの山でも間接的には有りますが、小生は日本の大手問屋とも競争が有りバッティングしています。それは熾烈な仕入れ競争です。

今月号で小生が皆様に言いたいのは、何十年も営んできた木材の流通そのものが、激変している最中だと思います。しかし大激動が、木材業界に今後何を齎すか全く解りません。

小生の予測する将来の流通システムはこんな形になるのではとは想像出来ません。多分超大きな企業と超小回りの利く企業に分かれると思います。そして流通はもっと簡素になって『メーカー・ユーザーダイレクト』になる様に思えます。アメリカの材木業界と同じ様な仕組みではと思っています。現在の流通業者は一層の付加価値を求められると思います。

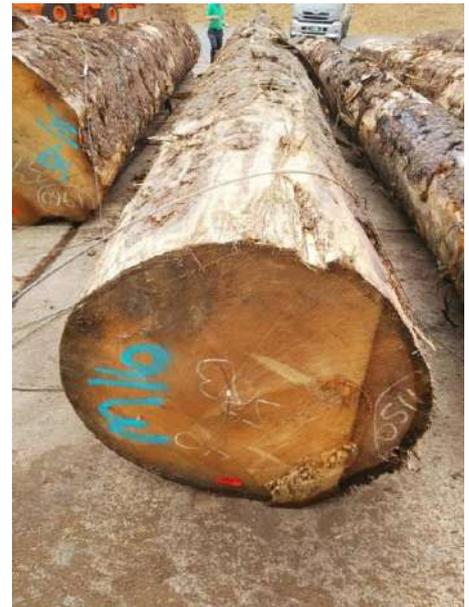
今日、明日の事も考えるのも大事でしょう。しかしこの先何が起きてもおかしくない状況で、先々夢をかなえる為に努力する事も大事です。私は皆に言いたいのは、これだけ多くの在庫を抱えている服部商店の在庫をもっと利用して欲しいと言う事です。これが服部商店の思いです。

小生は正しい材木の流通システムを考え直して再構築する必要な時代に来ていると思います。

## スプルス原木買い付け

2013年8月7日にアラスカ産スプルス原木の最後の買い付けをしました。2018年7月4日に買付けましたので5年ぶりのスプルス原木の買い付けです。

左の原木は長さ8メートル直径143センチです。右の原木は長さ12メートル直径98センチです。まず最初に希望の原木の仕入れが出来た事を喜んでいきます。



ところで5年間の間の時間の経過で産地も全く変わり知らない産地でした。しかし昨年と同じ産地と言う事で、昨年の原木は仕入れはしませんでした。十二分な情報を持っていたので、それを基に慎重に下見をして商いにこぎつけました。

大阪にスプルス原木を入れてくれる業者は以前は2社有りました。しかし現在は1社です。以前から2社の中で重きを置いていた問屋さんが現在もスプルス原木を大阪に入れてくれています。日本のスプルス原木市場は、完全な売り手市場になっています。その中に有って、勿論大手の問屋さんと取引する場合、色んな手続きが必要ですが、そこは先方の条件を聞き、折れ合う心は必要だと小生は感じています。

# 服部新聞第150号記念イベント再度の御案内

下記は2014年7月発行の服部新聞第100号で採用した形です。

**株式会社 服部商店**  
無垢材の販売 <http://www.hattoriwood.jp>  
代表者 服部雅章  
〒596-0011 大阪府岸和田市木材町16-1  
Tel-072-438-0173 Fax-072-422-8577 info@hattoriwood.co.jp

お客様の先のお客様は自分のお客様であり、お客様に満足して頂く為に妥協しない物作りを日夜目指す。売れる物より消費者から欲しがられる物を作るのが、服部商店の使命であります。必要な方に必要な形で提供していくのが仕事であり、服部商店はあらゆるお客様の多種多様な要望を聞き、適切にアドバイスをするのも我々木材のプロの責任であると考えています。

**江口木材 株式会社**  
木材卸売業  
広島営業所 〒729-0141 広島県尾道市高須町4777番地10  
本社 〒454-0003 名古屋市中川区松重町3-10  
Tel-0848-38-1935 Fax-0848-38-2095

現在、日本の木材需要環境は必要とされる時に必要とされる品質の材を必要とされる数量を供給する事が非常に難しい状況にあります。江口木材は木材需要を予測して世界中から仕入れお客様への安定供給の為に在庫を持ち、ニーズに合わせた販売に心がけています。常にチャレンジ精神を忘れずにお客様へ「いいもの提案」を心掛けています。

**有限会社 星野木芸**  
木工業（組子細工）製作販売  
代表者 星野雅信  
〒322-0072 栃木県鹿沼市玉田町145  
Tel-0289-64-3245 Fax-0289-64-9501

星野木芸は木の町かめまの建具屋です。  
組子製造元（組子細工）投網 曳網 干網 ミツ組手  
特殊デザイン、見積り発注ありましたら、宜しくお願いします。

**甘楽木工房**  
家具製作 <http://kanra-workshop.com/>  
代表者 西川 浩  
〒370-2201 群馬県甘楽郡甘楽町上野 489  
Tel-0274-74-2020 Fax-0274-74-2020 info@kanra-workshop.com

ムク材の家具はそう簡単に壊れるものではなく、長く幾世代にも渡って使い続けることができます。ただ、買った時は気に入ったデザインでも時を経ると古臭い感じになってしまう事は良くあります。まず、デザインに飽きてしまうのです。シンプルで完成度の高いデザインとは何かを追求しています。建築家の方々と仕事をする事が多いので、建物と家具とのマッチングも大切だと考えています。

今回はA4ページ1枚に6名の方をご紹介したいと考えています。その概略がその次のページです。1社当たりのスペースです。

|  |   |
|--|---|
| <p><b>株式会社服部商店</b><br/>無垢材の販売・服部雅章<br/>日本・世界中の広葉樹を扱っています。<br/>〒596-0011 大阪府岸和田市木材町16-1<br/>TEL 072-438-0173 FAX 072-422-8577</p>  <p>開かれた材木屋を目指しています。</p> | <p>このスペースを利用してエンドユーザー様を含む御客様にプレゼンテーションをして下さい。</p> |
|--|---|

ところで服部新聞の購読者は日本全国にいらっしゃいます。現在3800人、毎月50人の方々が増えています。その内容はおお客様の守秘義務で詳しい話は出来ませんが、エンドユーザーの方々が1000人以上いらっしゃいます。その1000人の方々にも物作りの面白さをもっと多く知って頂きたいと思っています。その為には物作りに熱心な建築士・木工所・工房の方々のプレゼンテーションをして頂くページを作りたいと思っています。そこで考えたのが150号記念イベントです。

